

としょかんだより

庄内町立図書館
2022年 2月発行

No.20

開館時間

平日 9時～18時(～3月)
土日 9時～17時

休館日(本館)

月曜・祝日(平日のみ)
年末年始・蔵書点検期間



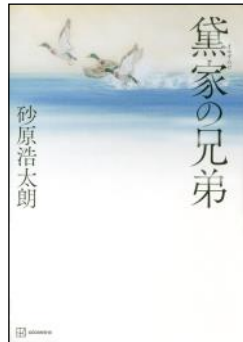
注目の新刊



『黛家の兄弟』

砂原 浩太郎／著

今度は17歳の武士が主人公。神山藩で代々筆頭家老の黛家。三男の新三郎は大目付を務める黒沢家に婿入りし、政務を学び始める。そんな中、黛家の未来を揺るがす大事件が起き…。神山藩シリーズ第2弾。(講談社)



『探花』〔隠蔽捜査9〕

今野 敏／著

横須賀基地近くで殺人事件が発生。米海軍犯罪捜査局が捜査に加わる異例事態に。一方、竜崎の同期でトップ入庁の警察官僚・八島が神奈川県警に赴任してくる。彼には不穏な噂がつかまとい…。(新潮社)



『老後とピアノ』

稲垣 えみ子／著

50歳で会社を早期退職。ずっとやりたかったピアノに挑戦! エゴを捨て、自分を信じ、「いま」を楽しむことの幸せを、ピアノは教えてくれた…。

老後を朗らかに生きていくエッセイ。(ポプラ社)



『ないものねだるな』

阿川 佐和子／著

コロナ禍で激変した生活、母亡き後の実家の片づけ、忍び寄る老化現象…。「なんのこれしき!」と奮闘の日々を綴った、読むと気持ちが楽になる、アガワ流「あるもので乗り越える」人生のコツ。(中央公論新社)



『10歳からのカラダ・性・ココロのいろいろブック』
アクロストン／著(ほるぷ出版)

今月の新刊からもご紹介!
10歳からの多様な体と性、心によりそう本

こころとからだを考えよう

世界の他の国々よりも遅れているとされている日本の性教育が、今少しずつ見直されています。心と体をテーマに扱う絵本も増えてきており、当館でも特集コーナーを設けることにしました。掲載したタイトル以外も展示しています。

ぜひお手に取ってみてください。



絵本だけでなく大人向けもありますよ!



『親子で話そう! 性教育』

浅井 春夫／監修
良 香織／監修
(朝日新聞出版)

『すくすくいのち』はまのゆか／著, 佐々木 裕子／監修

『ばんつのなかのまほう』

なかがわ さやこ／作, でぐち かずみ／絵

『げっけいのはなし いのちのはなし』

おおいし まな／作, ふかい あずさ／絵

『だいじだいじどーこだ? はじめての「からだ」と「性」のえほん』

えんみ さきこ／作, かわはら みずまる／絵

『あぶないときはいやです、だめです、いきません』^分

清永 奈穂／文, 石塚 ワカメ／絵(岩崎書店)

『あなたはちっともわるくない』安藤 由紀／著

『うちに帰りたくないときによむ本』

川崎 二三彦／監修, 北原 明日香／絵

『NHK#もしかして… おとなにたたかれたの? おとながたすけてくれないの?』

NHK「#もしかして…」制作班／編, 飯田 千里／絵, 奥山 眞紀子／監修

からだ

こころ

マークの

^分 = 分館所蔵

= 予約がおすすめ

= 受賞作

= 0歳からOK

= しかけ絵本

= エッセイ等